

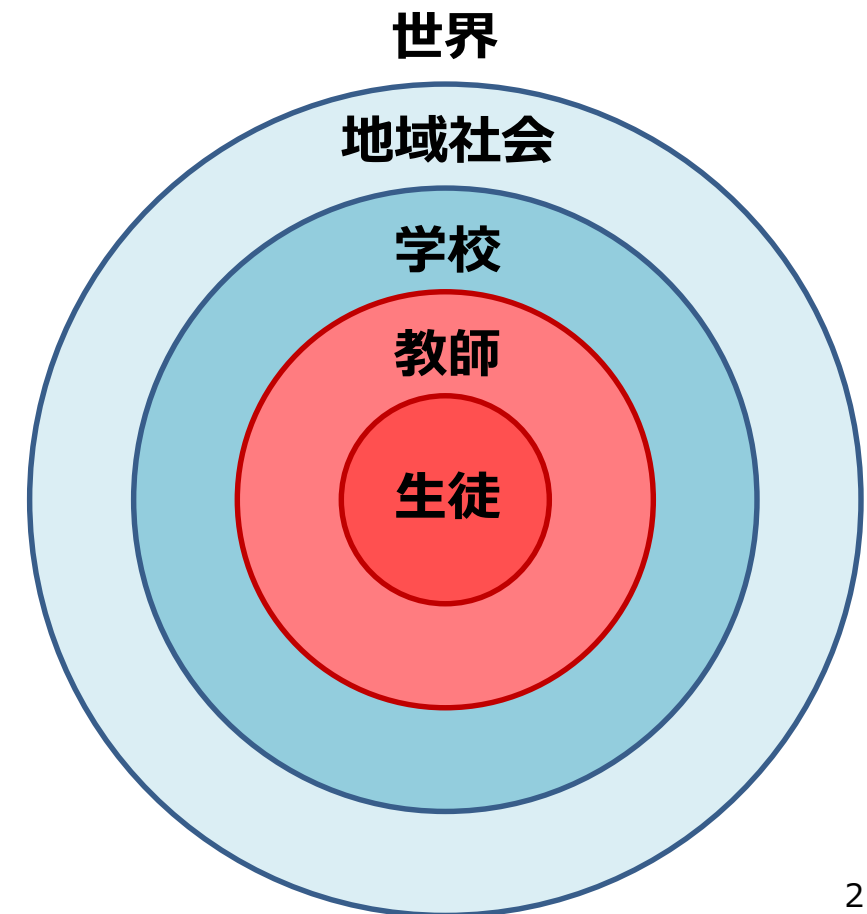
新教育課程に向けた校内改革

～生徒が自ら走り出す学校づくり～

宮城県気仙沼高等学校
(平成28年度SGH指定校)

指定終了後における教育課程の構築に向けて

- 1 **学校**が自ら走り続けるために
- 2 **教師**が自ら走り続けるために
- 3 **生徒**が自ら走り出す



本校のSGH構想

「海を素材とするグローバルリテラシー育成」
～東日本大震災を乗り越える人材を目指して～

海を活かす
思考力

海でつながる
コミュニケーション力

海と生きる
行動力

知識・技能

地域を超えたリーダーを育成

地域のリーダーを育成

協働型学習プログラム

東日本大震災復興プログラム

3学年

2学年

1学年

授業改善(8小事業)

全教員

英語教育(4小事業)

英語科教員

国際交流(5小事業)

英語科教員
中心

ESD

課研Ⅱ

教科選出(8名)

課研Ⅰ

教科選出(8名)

地域社会研究

1学年教員+他学年選出

ESD

(創造類型)
(3学年全員)

総学 志教育

3学年教員

(創造類型)
(2学年全員)

総探 志教育

2学年教員

(1学年全員)

(1学年全員)

総探 志教育

1学年教員

ESD

防災教育(4小事業)

全教員

地域連携(4小事業)

事業主
中心

国内交流(3小事業)

事業主
中心

大学
企業
NPO
地域組織
保護者

スモール
ステップ
アプローチ
ダイレク
タラー
ニング
アプロ
ーチ
教員専門
性開発
アプロ
ーチ

一事業一事業主制

課題・改善表

全教科・全職員 研究企画部

学校が自ら走り続けるために

(1) 地域に開かれた学びを広げる

→ 連携・フィールドワーク (小中高大, 市役所・企業, NPO)



大学教員による指導
(オンライン)



中学生への探究発表
(オンライン)



フィールドワーク
(市内32カ所)

学校が自ら走り続けるために

(2) 海外（台湾）研修・交流を深める

→ 費用面の工夫，事前指導の充実，連携先の定着・拡大



40人規模での海外研修
(台南高級海事水産職業学校)



地元人材の活用
(在日台湾出身者)



台日交流視察団の受け入れ
(R2.2月)

教師が自ら走り続けるために

(1) 探究中心の学びをつなげる

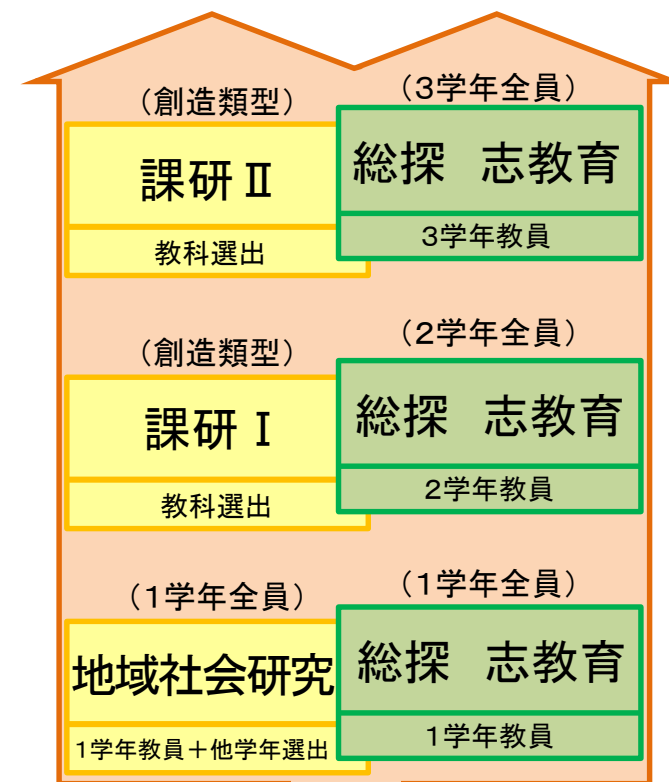
→ 指導法の共有, 最新情報, 教師全員



新任者・転任者のOJT



職員研修の活性化
(深い学びと探究)



探究活動の全員担当化
(40% → 100%)

教師が自ら走り続けるために

(2) 教科指導の中で探究を活かす

→ 探究 ⇔ 各教科, 協働 ⇔ 個人, 教科横断的な学び



ICT・思考ツールの活用



思考・判断・表現力の育成



国語と美術のコラボ授業

生徒が自ら走り出す

(1) 先輩に憧れ，仲間を認め，学び合う

→ 後輩への引き継ぎ，校外への挑戦，自ら走り出す活動



モデルとなる校内発表
(毎年10月，1月)



外部発表会への積極的参加
(東京大学，研修センター他)



生徒主体イベントの企画
(気仙沼市民フェス)

生徒が自ら走り出す

(2) 海・震災の地域性・独自性を見つめ直す

→ 多様な価値観があふれる 今, ここだからこそ



海・SDGs



生徒主体の防災訓練



震災（当時6歳）の語り部

(東日本大震災遺構・伝承館)

本校の校内改革

- 1 学校が自ら走り続けるために
→ **生徒の声から教育活動を見直し続け、**
- 2 教師が自ら走り続けるために
→ **どの学校でも中核になれる教師を目指し、**
- 3 生徒が自ら走り出す
→ **実感を伴う未来の創り手が育つ学校**

世界にはばたく気高生を！ ～生徒が自ら走り出す学校づくり～

